

おおきに健康 歯とお口から

 Vol.
44
2026年春号


Contents

お口の相談コーナー

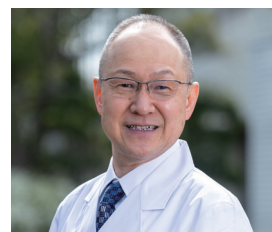
インプラント治療ってなに？

診療科・部門紹介

口腔インプラントセンターに
取材しました！

病院トピックス

健康長寿・幸福長寿には 歯が大事



副病院長 池邊 一典

日本の高齢化は避けられない現実です。だからこそ、高齢者が健康で長生きし、できれば社会の担い手として活躍していただくことが求められています。自分らしく、いきいきと暮らし続けること——それは本人や家族だけでなく、日本全体の願いです。

そのために欠かせないのが健康長寿・介護予防です。従来から、運動と栄養が重要とされてきましたが、近年はそれらを支える口腔機能の役割が注目されています。厚生労働省も、運動・栄養・口腔の三位一体の取り組みがより効果的だとしています。

健康に良い栄養素として、野菜や果物に含まれるガンや動脈硬化を防ぐ「ビタミンや食物繊維」、そして筋肉や骨をつくる「たんぱく質」が挙げられます。しかし、困ったことに歯が悪いと、これらの食品は食べにくくなります。

むし歯や歯周病を予防し、適切な治療とその後の管理を続けることが大切です。そして何より、「好きなものをおいしく食べられること」は、人生を長く楽しむための大事な要素です。つまり、お口の健康こそが、幸福長寿を実現するための最大の鍵なのです。

インプラント治療ってなに？

人工の歯根を顎の骨に埋め込み、その上に人工の歯を取り付けるインプラント治療。自然で安定した噛み心地や見た目の良さ、周囲の歯に頼らず設置できるといったメリットから、歯を失った際の選択肢として普及しています。



西村センター長の
詳細はこちら

西村 正宏 センター長

広島大学大学院修了。鹿
児島大学歯学部部長などを
経て2025年より現職。
口腔補綴科長兼任。

Q. インプラント治療とはどのようなものですか？



A. 欠損した歯の代わりに、人工歯根の上に歯を設置する治療です。

インプラント治療では、骨とチタンが結合しやすい特性を生かし、チタン製でスクリュー状の人工歯根を手術で歯茎に埋め込み、さらにセラミックなど硬度のある素材で作製した人工の歯(上部構造)を人工歯根の上へ取り付けます。歯を補う治療としては、周囲の歯を利用して人工の歯を支える義歯やブリッジもありますが、歯根があるインプラントは単体で自立してしっかりと噛めますし、金具などがなく見た目が良い点も人気の理由です。

Q. インプラント治療を始めるまでの流れを教えてください。



A. 口腔内や全身の環境を整えながら、治療計画を検討します。

まず歯周病や全身疾患、生活習慣などを確認。糖尿病があると骨と人工歯根は結合しにくく、術後に感染が起こりやすいことも知られています。喫煙も骨と人工歯根の結合を妨げますので、治療前には歯周病や糖尿病の治療、禁煙が欠かせません。またインプラントを埋め込む場所の顎の骨量を調べ、不足していれば骨を増やす治療を行いますし、周囲の歯並びや高さを調整することも。安全性と治療効果を高めるために、口腔内や全身を整えていきます。

Q. 治療はどのように進むのでしょうか？



A. 一次手術で人工歯根を埋め込み、二次手術で人工の歯を取り付けます。

まず歯茎を切開して骨を露出させ、そこへ人工歯根を埋め込む一次手術を行います。その後、人工歯根が骨に結合するまで2～3ヵ月ほど待ってから、改めて歯茎を切開し人工歯根と人工の歯をつなぐアパットメント(土台)を取り付けます。これが二次手術です。この段階で型取りをして、プラスチックで仮歯を作製。リハビリ期間として仮歯を付けて1ヵ月程度生活いただき、その間に仮歯の形や高さなどを調整します。歯のない状態が続いている間に、周囲の粘膜がたるんだり舌が膨らんだりすることもあり、仮歯を入れた当初は頬や舌を噛んでしまいがちに。歯がある状態に慣れる期間が必要になるのです。口腔内が落ち着いて仮歯の調整も終われば、セラミックなど強度と審美性を備えた素材で最終的な上部構造を作製し、アパットメントに取り付けて治療は終了です。



ただ、その後も定期的なメンテナンスは続きます。インプラント自体は強度が高くその場にしっかり固定されていますが、周囲は天然のままです。時間とともに少しずつ変化して隙間ができたり噛み合わせがずれてしまったりすること。メンテナンスは清掃に加え、口腔内の変化を早期に発見して対策を行う貴重な機会でもあるのです。

なお、インプラント治療は通常は自費診療ですが、病気やけがで顎の骨が広範囲に欠損している場合には「広範囲顎骨支持型装置」というインプラントが保険適用になり、当院はこの治療ができる施設です。

口腔インプラントセンターに取材しました！

さまざまな専門性をもつ歯科医師や看護師、検査部などがチームを組んで診療にあたる「口腔インプラントセンター」。難症例や入院手術にも対応できる理由や診療の特色を、西村正宏センター長にうかがいました。



幅広い領域からエキスパートが集結し 難易度の高いインプラント治療に挑む

今や、開業歯科医院でも日常的に行われるインプラント治療ですが、大規模な顎骨欠損や全身疾患のある患者さん、歯科診療に極度の恐怖を抱く患者さんなどには、専門性に基づいた包括的な診療体制や、全身管理ができる医療環境が必要です。口腔インプラントセンターには、専門性に特化した複数の診療科から先生方が参加。看護部、検査部、総合技工室などのスタッフも加わって1つのチームを組み、難症例に対しても精緻で安全性の高いインプラント治療をめざします。高水準の診療を求め、関西一円はもちろん、遠方からも多くの紹介患者さんが受診しています。

特徴 1

多科、多部門が集うチームで
複数工程にわたる治療が可能



当センターでは、全身管理や複合的な治療を必要とする難症例のインプラント治療を中心に対応。中でも先天性疾患や良性・悪性腫瘍で顎骨が大きく欠損した患者さんに対して保険適用で行う「広範囲顎骨支持型装置」を用いた治療や、全身麻酔・静脈内鎮静下での手術、入院治療を行える点も特色です。インプラント治療では術前の歯周病治療、骨造成、歯列矯正などを含めた総合的な治療計画の立案や、手術に伴う全身管理、術後の継続的なメンテナンスが欠かせません。欠損部分だけでなく口腔全体の機能や環境を高める必要があるため、各領域のエキスパートの力が必要です。当センターでは補綴科をはじめ口腔外科、口腔治療・歯周科、保存科、矯正科、歯科麻酔科、放射線科の先生方や、検査部、看護部、総合技工室のスタッフから成る委員会を設置。毎週各チームごとにすべての症例のカンファレンスを行ったり、毎月全体での勉強会を実施したりするなど、綿密な連携を築いています。

特徴 2

全身麻酔や入院手術が強み
検査・技工・メンテも院内で



院内には3D画像が得られる歯科用CTなど検査環境が充実。日帰り手術室は4床、また口腔外科には全身麻酔用の手術室もあります。事前に骨を造る必要のある症例では、どの部分にどのような骨を造成するか、主に補綴科と口腔外科の先生が診断や治療計画を立案して手術を実施。全身麻酔になるので麻酔科の先生、さらに看護部と、骨造成手術だけでも4部門が連携します。埋入手術では静止画像によるガイド手術に加え、術中にリアルタイムで埋入位置をガイドする動的ナビゲーションシステムも活用します。なお、術前には各種の血液検査や生理機能検査が行われ、精緻で審美性の高い技工物の作製も必要ですが、外注することなく院内でこれらにほぼ対応できます。メンテナンスは看護部に在籍する専門の歯科衛生士が担当。初診からメンテナンスまですべての診療情報が記録・保存され、将来の治療にも役立ちます。

病院トピックス

院内でのマスク着用ルールが 変わりました

院内でのマスク着用ルールが2026年4月6日から変更となりました。皆さまには状況に応じて適切にマスクをご着用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

- 1) 病院内でのマスク着用については、患者、職員ともに個人の判断とする。
- 2) 患者、職員は、自身が発熱・咳などの症状、その他体調不良がある場合、感染症流行時期はマスクを着用する。
- 3) 病棟特性により、入院患者との面会時はマスクを着用する。

このルールは状況に応じて見直す可能性があります。最新情報は当院Webサイト「新着情報」でご確認ください。

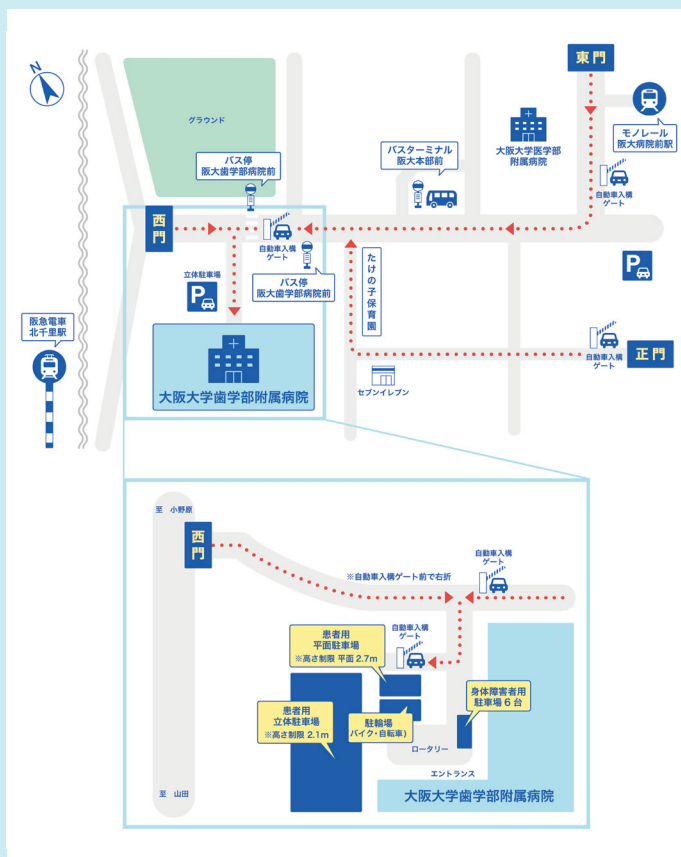
大学内を通行する場合は 入構券の発券をお願いします

大阪大学「正門」および「東門」側の自動車入構ゲートを通された際は、必ず入構券を発券してください。入構券を発券されない場合、出構の手続きに支障をきたす可能性がございます。

なお、西門から当院に来られる場合は、大学構内への自動車入構ゲートの手前(右手側)に当院専用駐車場入り口がございます。誤って大学学内へ入構されないよう、必ずこちらの入り口をご利用ください。

駐車場の円滑なご利用のため、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大阪大学歯学部附属病院



住 所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

駐車場：有

歯学部附属病院にお車で越しの際は、大阪大学西門よりお越しください。



病院HPはこちら



アクセスの
詳細はこちら

TEL：06-6879-5111 (代表)
06-6879-2848 (時間外)

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知おきください。夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

診 療 日

月～金 休診日：土/日/祝/年末年始(12/29～1/3)

診療受付時間

【初診受付】8:30～11:30 (初めて受診の方、紹介なし可)
【再診受付】8:30～15:00 (原則として全予約制)

標 榜 診 療 科

歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

●対象となる疾患●

予防歯科、う蝕(虫歯)、歯周病、補綴(冠、義歯、インプラント)、歯列不正、口腔がん、口唇口蓋裂、顎変形症、障害者歯科、摂食・嚥下・発音障害、スポーツ歯科、口臭、ドライマウス、睡眠時無呼吸、歯の外傷等

寄付のお願い

地域支援や社会貢献に役立つよう、病院の環境整備・教育研究などの病院運営に有効活用させていただきます。



ご意見募集!

読者のみなさまからの、広報誌「おおきに健康歯とお口から」へのご意見をお待ちしております!

